

Finesse バージョン 9.1(1) の Openfire ロギング

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[Openfire ロギングの有効化](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco Finesse を対象とした Openfire デバッグ トレースを有効にする方法を説明します。

前提条件

要件

Cisco Finesse および音声オペレーティング システム (VOS) の CLI コマンド プロンプトについて十分に理解しておくことをお勧めします。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Cisco Finesse バージョン 9.1(1) に基づいています。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

Openfire ロギングの有効化

注: Openfire ロギングを有効にすると、Finesse サーバのパフォーマンスに影響します。パフォーマンスを最適化するため、必要なログの収集が完了したらロギングを無効にしてください。

注: ロギングを有効にした後で、Cisco Finesse Notification Service と Cisco Tomcat Service

を Finesse サーバで再起動する必要があります。ロギングはサービスに影響します。これらのサービスを再起動すると、エージェントが別の Finesse サーバにフェールオーバーします。

注: Cisco Finesse リリース 9.1(1) には新機能が導入されました。以前のバージョンでは、Cisco Finesse Notification Service ロギングを有効または無効にする前に、Cisco Notification Service と Cisco Tomcat Service を停止する必要があります。Cisco Finesse Release 9.1(1) ES3 ではこの要件が削除されました。Cisco Finesse Notification Service ロギングを有効または無効にするには、まず Cisco Finesse Notification Service が稼働していることを確認する必要があります。このサービスが稼働していない場合は、ロギングを有効または無効にするコマンドが失敗します。

1. Primary Finesse Server にログインするため、ユーザ名「**administrator**」をすべて小文字で入力する必要があります。管理者ユーザがこれまでに作成されていない場合の回避策については、Cisco Bug ID [CSCue46832](#) を参照してください。
2. ロギングの現在のステータスを確認するため、**utils finesse notification logging status** コマンドを入力します。
3. Cisco Finesse Notification Service と Cisco Tomcat Service を停止するため、**utils service stop** コマンドを入力します。
4. ロギングを有効にするため、**utils finesse notification logging enable** コマンドを入力します。
。
5. Cisco Finesse Notification Service と Cisco Tomcat Service を開始するため、**utils service start** コマンドを入力します。これらのサービスをこの順序で開始することが重要です。
6. ロギング ステータスを確認するため、**utils finesse notification logging status** コマンドを入力します。
7. セカンダリ サーバでステップ 1 ~ 6 を繰り返します。必要なログの収集が完了したら、Openfire ロギングを無効にする必要があります。

8. Openfire ログイングを無効にします。ステップ 1 に示すように Primary Finesse Server にログインします。
9. ステップ 3 に示すように Cisco Finesse Notification Service と Cisco Tomcat Service を停止するため、**utils service stop** コマンドを入力します。
10. ログイングを無効にするため、**utils finesse notification service logging disable** コマンドを入力します。
11. ステップ 5 に示すように Cisco Finesse Notification Service と Cisco Tomcat Service を開始するため、**utils service start** コマンドを入力します。必ず Cisco Finesse Notification Service を最初に開始してください。
12. ログイングが無効になっていることを確認するため、**utils finesse notification logging status** コマンドを入力します。
13. 重要：ステップ 8 ~ 12 を繰り返し、Finesse Secondary Server で Openfire ログイングを無効にします。